



各学年の重点目標

第一学年	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で選んだ本を楽しんで読もうとする。 ・図書館に親しんで利用する。 	第二学年	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な種類の本を読もうとする。 ・調べ学習に必要な簡単な資料を収集する。 	第五学年	<ul style="list-style-type: none"> ・読書を通して知識を増やし、心情を豊かにする。 ・目的に応じた資料を収集する。
第二学年	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で選んだ本をすすんで読もうとする。 ・図書の扱い方や借り方など正しく利用する。 	第四学年	<ul style="list-style-type: none"> ・読書の幅を広げ、すすんで読み、読書量を増やす。 ・調べ学習に必要な資料を収集する。 	第六学年	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な本を選んで読む習慣を定着させる。 ・目的に応じた資料を収集し、課題解決する。

具体的な取り組み

〔各教科〕

- 図書館機能を活用し、課題解決学習、調べ学習、個別指導やグループ学習の場とする。
- 他教科でも「読書科ノート」の活用を図り、情報の収集、処理等、情報活用能力を養う。
- 読書指導を行い、読書習慣、態度を養う。

〔読書科〕

- 「手の届くところにいつも本を」を合言葉に、朝読書1000分以上に取り組み、読み聞かせなど異学年交流を含めた読書活動を推進し、読書を習慣化させる。
- 図書資料を活用して調べたことを整理・分析し、表現する力を養う。

〔総合的な学習の時間〕

- 学び方や考え方を身に付けさせる。
- 課題の解決、探究に主体的に取り組ませる。
- 系統的に情報活用能力を育成する。

〔特別活動〕

- 図書委員会を中心に、自発的・自治的に図書館を運営し、読書活動推進を展開する。
- 特別活動の中で積極的に図書館を活用する。

〔特別の教科 道徳〕

- 図書資料を通して、様々な生き方や考え方に接する中で、自分を深め、道徳的心情を培う。

〔家庭・地域・区立図書館職員との連携〕

- 読み聞かせ、図書館整備などでボランティアや公立図書館と連携する。
- 環境整備や指導補助など、週1回の巡回図書館司書と連携する。